

「報告」



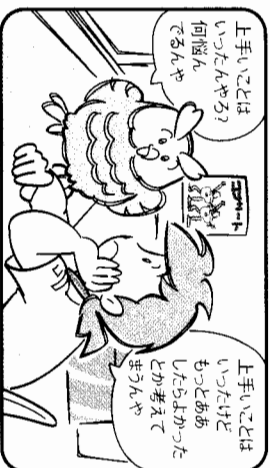
報告には記録の部分と評価反省の部分がある。

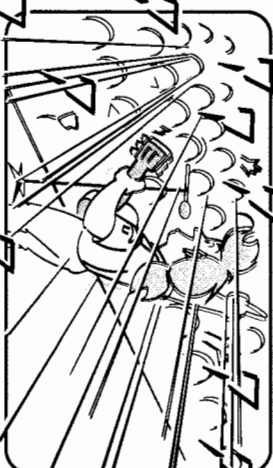
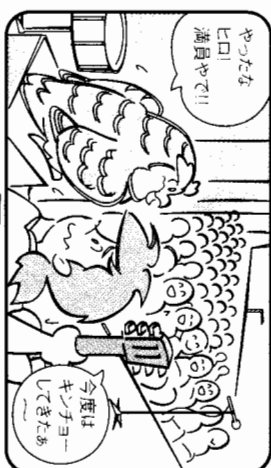
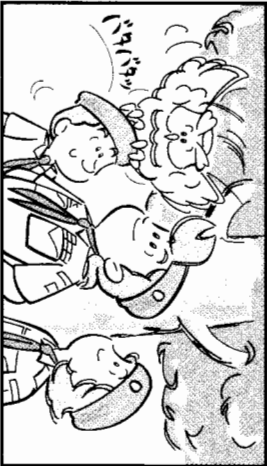
記録は実施した時間毎や会計面等。

評価反省は企てた計画に対して、どうであったか、その部分ごとに整理していく方がまどめ易い。

そして次にプロジェクトへのステツアツプとしていこう。

(参考) P.31～P.34







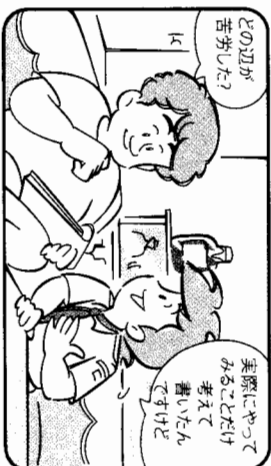
Boys be a Big Shot



「実施展開」

自分のたてた計画通り、実施してみよう。
綿密な計画だったかどうか問われる場。
事故無く楽しい展開を。





「計画承認」

企画と同じで理解して貰うこと。内容に関して実際に展開出来る(可能)かどうかが問われる場だ。プレゼンテーションにも工夫を凝らしたりしてみるのもいいかもしれない。



ペンチャープロジェクト

企画書

ベンチャープロジェクト

企 画 書

プロジェクト名	BSコンサート IN なにわ
プロジェクト形態	個人
提出日	平成〇〇年〇〇月〇〇日
提出者	日本ボーイスカウト大阪連盟 なにわ第1回 ベンチャー隊 ヒロ

議長承認	
コメント	〇〇月〇〇日隊運営会議にて承認、続いて〇〇日隊会議にて発表された。非常にヒロらしいプロジェクトに全員期待している。 また、個人プロジェクトではあるが、我々も応援と一部準備の作業をサポートすることにした。

隊長承認	
コメント	ヒロにとって、初めてのプロジェクト。面白いアイデアだと感じました。成功する事を心から願っている。 今後、計画の段階でより具体的に進めてもらいたいが、地域への宣伝活動自作の曲作り、演出等、平作作業のスケジュールを大切に。



「計画書」

承認された企画をより具体化してゆく。

企画で大体の日程、予算やコースだった事柄を実際に乗っ取った形式に改める。

準備段階で必要な技能を修得したり、専門家のアドバイスを受けたり、そんな事もまとめて計画が仕上がりて行く。

(参考) P.27～P.30

「企画承認」



企画書が出来上がるとベンチャーリーダーもさることながら隊で承認を受けること。仲間に自分のプロジェクトを説明し理解しあう事が大切。



目 的	地域の人々に、スカフト活動をテーマにしたオリジナルソングを聞いて頂き、より一層の理解と協力を仰ぐ為のコンサートをする。		
目 標	団本部（地域集会所）を、満員にする コンサート後、入団希望者の呼び込みをし一人でも入団希望者を見つける。		
挑 戦 分 野	文化活動		
プロジェクト期間	平成〇〇年〇〇月〇〇日～〇〇月〇〇日		
計画書提出日	〇〇月〇〇日		
実 施 期 間			
準 備 期 間	〇〇月〇〇日～〇〇月〇〇日		
コンサート	〇〇月〇〇日 午後18：00～20：00		
報告書提出日	〇〇月〇〇日		
活 動 場 所	準備（ホスター、ヒラ作り） オリジナルソング作り） 自宅及び スカフトホーム （案内、広報） 地域集会所及び 近隣周辺		
	会場 地域集会所（団本部）		
	準備物関係費	ホスター等作成	5000円
	会場費	音響機材レンタル	4000円
予 算	予備費		1000円
	合計		10000円

文化活動プロジェクト 計画書

個人，グループ

プロジェクト名	BSコンサート IN なにわ		
挑戦アワード	文化活動		
実施活動期	平成〇〇年〇〇月〇〇日（〇曜日）～ 〇〇月〇〇日（〇曜日）		
	準備開始日時	〇〇月〇〇日（〇曜日）～	〇〇月〇〇日（〇曜日）
	最終展開日時	〇〇月〇〇日（〇曜日）～ 〇〇月〇〇日（〇曜日）	
展開場所	団本部（地域集会所）		
所属	日本ホーイスカウト大阪連盟 なにわ第1団 ベンチャー一隊		
氏名	ヒロ		

企画承認日	平成〇〇年〇〇月〇〇日
計画提出日	平成〇〇年〇〇月〇〇日
議長承認	印
コメント：	全体的な構想がよく分かり全員台意の元承認できた。 ただ、企画段階で我々セサポートしたい旨を伝えただのに、 具体的な指示がされていなかったのが、残念である。
隊長承認	印
コメント：	当初、準備段階の不備を感じたが努力の成果を感じる。 コンサート会場予定地の団本部（地域集会所）を、 お借りするにあたっては、内容を十分理解して頂くようお願いのために。 また、地域へのPR活動中の注意事項を守る事！



やりたいプロジェクトの概要
説明
誰が/誰と
いつ頃
何処で
何を
何のために
どれ位まで
いくら位まで
以上の内容が分かるように工夫して自分らしく表現すればいい。
但し、人に理解される為に作るもの
(参考) P.25～P.26



「目的と目標」

目的とは【何でするか】

自分は何の為にこれをするのか
＝展開方法を理由付けした
もの

「なぜ君は、これをするので
すか？」

に対する明確な答えとも言える。

目標とは【何処までするか】

どれ位のレベルまでするのか
＝達成するのに挑戦意欲が
満たされる事

当然、人によって異なる。

君の事は君が一番知っている。



目的	スカウト活動をテーマにしたオリジナルソングコンサートを開催し地域のみなさんに、より一層の理解と協力を呼びかける。		
目標	◇団本部（キヤバ120名）を、満員にする呼びかけをする。 ◇具体的な支援者として、夏の団/サマーのチツケトを購入してもらおう。 ◇入団希望者を募る。（4～5名は入団してもらいたい）		
実施場所	ホスター、ヒラ類の製作及び、曲作り 自宅及び、団本部（スカウトルーム） 案内及び、広報活動 地域周辺 コンサート会場 団本部（地域集会所）		
タイムスケジュール （全体計画）	準備		
	00月00日 ↓ 00月00日 ↓ 00月00日 ↓ 00月00日 ↓ 00月00日 ↓ 00月00日 ↓ 00月00日(当日)	ホスター基本構想作成 配布用チラシ* 作成開始 ホスター完成 地域へ掲示依頼及び、ヒラの設置 音響機材借り受け依頼 操作講習 音響借り受け 劇団に自動車依頼 リハーサル スカウトルームにて	作詞開始 1日1詩! 全曲完成 時間調整及びCMC案製作
	13:00 15:00 16:30 17:30 18:00 20:00	団本部着 音響機材セッティング 特別拝観席設置 舞台セッティング カーテンデコレーション 舞台リハーサル 最終音響セッティング 開場 地域シルバークラウド案内 開始 終了 片付け	安全確認
			音響機材等も当日返却

各部分計画

ホスカー作成	個別目標 00月00日	「目に描いた印象を、引きつける魅力を持つ作品にする」 作業5点をもちに、指導依頼 学校にて 台口先生より指導
	00月00日	原案決定（5種箱） 各10版 複製製作 同上分 色入れ
	00月00日	ホスカー完成
	00月00日	指示
ビラ作成	個別目標 00月00日	「開催趣旨が十分に理解される作品を作る」 ホスカー原案よりイラスト抜粋 文章原案組み合わせ
	00月00日	プリント印刷
	00月00日	ホスカー指示と共に 近隣協力者配布
ビラ配布（案内）	個別目標 00月00日～ 00月00日	「出来る限り沢山の人に配布する」 期間内に、駅前、バス停 学校等、地域内にて配布
オリジナルパンフ	個別目標 00月00日	「ハートに訴える！BPSとビラツツ」 作詞開始
	00月00日	曲製作開始 日と先生に相談 作詞完了
	00月00日	全曲完成 日と先生アクト/バス 出来上がり
音楽試聴取り扱い	個別目標 00月00日 ～ 00月00日 00月00日	「一人で出来るミキサー術」 ナカイ君のお父さんに弟子入り 指導依頼する 技能修得 お借りした機材配線 ミキサー確認



「7つの分野」

プロジェクトには7種類ある。
あくまで完了したごほうびだから始めからアワード狙いが目的ではダメ。

ただ、完了しても必ずアワードが貰える訳ではない。

以下の内最低2つ以上の要素が含まれていなければいけません。

【5つの条件】

- 継続性があること
 - 社会性があること
 - 独創性に富んでいること
 - 自分の生活意識が高揚されていること
 - 自分の技能が開発されたり、向上したと思われること
- また、同じ分野に挑戦しても2つ目の同じアワードはない。



「ニーズをプロジェクトに」

ニーズが出たら今度はプロジェクトとして展開する為にどんな方法がいいか考える。
例えばニーズが、「キャンプがしたい!」じゃあ、どんなキャンプ?
「無人島サバイバルキャンプ」「サイクリング移動キャンプ」プロジェクトの目的や目標に繋がる事。
ニーズをふくらませよう。

予 算	予想される障害と解決策
ホスワー用絵具 3050 ヒラ用インク (7リットル) 1875 ホスワー提示用のり (スプレーのり) 879 大判テンプレート (50枚) 1200 音響補助 (ナカイ君のお父さんに依頼) 4000 ●カノン ●クイック ●ミキシング ●スワット ●シールド 合計 11004 ※企画より若干予算がオーバーしていますが、団/サ-のチケット売り上げ協力金を確保しようと思います。	障害 (懸念事項) ホスワー提示場所に関して ヒラ設置場所に関して ヒラ配布中に間に 作曲及び練習中の騒音等に対して 音響設備設置に関して 満席のための場内に関して 解決策 充分に説明の上、了解頂けた 如くのみ提示させて頂く 同上 コミに始めよう注意し、興味を持って頂ける人に配布を他ける 学校の音楽室を借りる インスタグラムにて、十分御指導頂き当日も見ていただく 立ち見席を用意する
支援を求める事 (指導依頼先) ホスワー作成 (イラストやデザインの技術支援) オリジナルインク 音響補助テクニック技能 地域広報活動 (ホスワー提示場所や案内の設置) 団本部 (地域集会所) への交渉 谷口先生 (美術部顧問) 日上先生 (軽音楽部顧問) ナカイ君のお父さん (楽器店社長) 福田隊長 樽谷団委員長	

文化活動プロジェクト 報告書

個人 , グループ

プロジェクト名	BSコンサート I N なにわ		
挑戦アワード	文化活動		
実施活動 期	平成〇〇年〇〇月〇〇日 (〇曜日) ~ 〇〇月〇〇日 (〇曜日)		
	準備開始日時	〇〇月〇〇日 (〇曜日) ~ 〇〇月〇〇日 (〇曜日)	
	最終展開日時	〇〇月〇〇日 (〇曜日) ~ 〇〇月〇〇日 (〇曜日)	
展 開 場 所	団本部 (地域舞会所)		
所 属	日本ボーイスカウト大阪連盟 なにわ第1団 ヘンチヤー隊		
氏 名	ヒロ		
企画承認日	平成〇〇年〇〇月〇〇日		
計画提出日	平成〇〇年〇〇月〇〇日		
報告書提出日	平成〇〇年〇〇月〇〇日		



「ニーズ」

やってみたい事、挑戦したい事等、趣味でも、クラブ活動でも先ずは自分の得意な分野から選択するのも方法。
でも、本当に思いこみが無いと、途中でリタイヤしてしまう可能性がある。
難しく考えたり、思い悩む事は無い。何事も、動くこと！



目 的	スカウト活動をテーマにしたオリジナルソングコンサートを、開催し地域の人たちに、より一層の理解と協力を呼びかける。		
目的に対する評価、反省	自分の得意分野からのプロジェクトだったのてやりやすかった。しかし、当初の目的を果たすのには今後数回の実施が必要に思われた。理解や協力は、簡単にには得られないし、継続する事を学んだ。		
目 標	◇団本部（キヤバ120名）を、満員にする呼びかけをする。 ◇具体的な支援者として、夏の団/サマーのチツケットを購入してもらおう。 ◇入団希望者を募る。（4～5名は入団してもらいたい）		
目標に対する評価、反省	満員にまで足し無かったが、みんなの協力で、90人強に成ったことは本当にうれしかった。ハサチツケットは、目標額以上に販売できた。地域の人に感謝！コンサート終了後、入団希望者が（カフ）6名！目標達成した。		
実 施 場 所	ホスラー、ヒラ類の製作及び、曲作り 案内及び、広報活動 地域周辺 コンサート会場 団本部（地域集会所）		
タイムスケジュール (全体計画)	準備	作詞開始 1日1詩!	予定以上に 日にちが かかり過ぎた
	00月00日 ↓ 00月00日 ↓ 00月00日 ↓ 00月00日	ホスラー基本構想作成 配布用じつ 作成開始 ホスラー完成 地域へ掲示依頼及び、ヒラの設置 音響機材借り受け依頼 操作講習 音響借り受け 劇団に自動車依頼 リハーサル ス カットルームにて	作曲が これ程と 思わなかつた

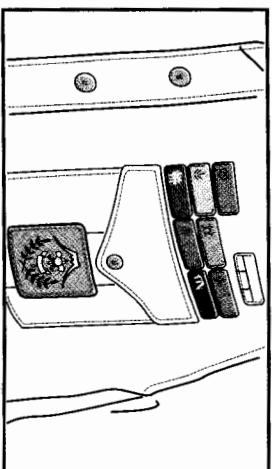
全曲完成
詩曲構成及びMO制作

タイム スケジュール	00月00日(当日)	13:00 団本部着 音響機材セッティング 特別洋服店到着 15:00 舞台セッティング カーテンデコレーション 16:30 舞台リハーサル 最終音響セッティング 照明セッティング 17:30 開場 地味シルバー洋服店到着 18:00 開始 20:00 終了 片付け	安全確認 音響機材等は、翌日返却
スケジュール に対する 評価反省	作詞や作曲に遅く時間がかかってしまった。 構想は出来ていても、実際に作り出していくのとは違っていることに 気づいた。しかし、本番当日は、隊長のアドバイスでリハーサルを していたことが幸いし、手間取ることを無しに進行できた。 但し、当日中に片付ける予定が、音響機材の返却も含め、 翌日に成ってしまい悔しさをおぼえた。 スケジュールは、自分の疲労度も考慮し、今後もう少し ゆとりのあるもので考えて行こうと思う。		
会計報告	音響機材 (ナカイ君のお父さんに依頼) ●アンプ ●マイク ●スピーカー ●ミキシング ●スタンド ●シールド 4000 以ヒシナル料 4000 合計 8000 ホスラー用船具 ヒラ用ペン (フリントコッゴ使用) ホスラー-指示用の (スプレーのり使用) 大判アクリル紙 (50枚) 左記入用品は、 RS隊の赤塚先輩より 頂いたので、 予算が大きく軽減できた。		



おる青年、ヒロの 一緒に **Big Shot** か？



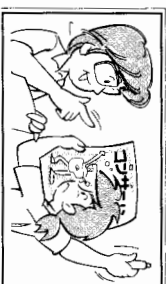


これはどこにでも
物語りじや。君も
を目指してみない

全体評価 及び反省 (次のプロジェクトへ)

- ① 各部分計画を立て、出来るだけ具体的な目標—どこまでやるかを掲げたことは非常に良かった。
比較的短時間で数個の内容をこなしていかねければならぬという、今回のプロジェクトにおいては、必要は事であった。
- ② 地域に対するPRが、充分出来なかった。
時間に余裕が無く、もっとスケジュール面を今後注視したい。
- ③ 個別にインストラクターを依頼した方々が、非常に良かったので助かった。
- ④ 今回は個人プロジェクトではあったが、一人ではなかった隊長を含めた、各指導者のみなさん、ローバーの先輩それに、コンサートに参加した、家族や近所の人達を連れてきてくれたスカウト仲間の協力があつたからこそ出来た。
みんなに感謝することを忘れず、今後のプロジェクトに生かして行きたい。

記録 (写真)



(軽音楽部の日上先生に
出来た曲を聴いて頂く)



(コンサート当日は、みんなの
協力で、素晴らしい
プロジェクトと成った。)



(美術部の台口先生に
アトバイスを受け
ホスラー作成)



あとがき

読み終った感想はどうですか。ベンチャープロジェクトのイメージが湧いてきましたか。

このコミックで君たちに知ってもらいたいのは、ベンチャープロジェクトのテーマは君自身の身近にあるということ。そしてプロジェクト法に基づき行っていけば、君のニーズが大きくふくらみ「やった！」と言う実感が得られることです。初めはあまり難しく考えないで、やってみたいことをゲームソフトを自分や仲間と作っていく感覚でしてみよう。より面白くするために、君のまわりの多くのサポーター（仲間、先輩、リーターなど）が支援してくれます。

ベンチャー時代に自分の興味あることだけでなく、いろんな世界を体験することは君の将来の進路を考える時に非常に役立ちます。また、プロジェクトを達成する度に君自身が大きく成長することは明らかです。

ヒロはヒーローではありません。君と同じ一人のスカウトです。だから、君も目指せ！ビッグ・ショット（大物）！

ベンチャープロジェクト移項作業チーム 代表 谷口 修

●コミックスプランニンググループ

・河合 浩司 ・真名子 淳 ・浅田 博昭

ベンチャースカウトプロジェクトガイドコミックス
Boys be a Big Shot 青年よ 大樹を目指せ！

2000年3月21日 初版第1刷発行

■ 発行：日本ボーイスカウト大阪連盟

〒540-0003 大阪市中央区森ノ宮中央2丁目13番33号
府立青少年会館

TEL.06-6943-0043

■ 編集：株式会社 台宣 ・小川 孔一

■ イラスト：牧野 修



ベンチャースカウトプロジェクトガイドコミックス

Boys be a Big Shot

青年よ 大樹を目指せ！

ボーイスカウト大阪連盟